

## 平成 22 年度「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（田原小学校）

### 1 教育目標（目指す児童児童像含む）

豊かな心や健やかな体を持ち、自ら考え、取り組み、判断し、新しい時代を創造的に生きる児童を育成する。

- （１） かしこく — よく考え がんばりぬく子ども — 「学ぶ意欲と思考」の育成
- （２） なかよく — すなおで 思いやりのある子ども — 「他人への思いやり」の育成
- （３） 元気よく — じょうぶで 明るい子ども — 「強い心と体」の育成

### 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「かしこく、なかよく、元気のよい児童育成をめざす学校づくり」

これからの新しい時代を生きる子どものよりよい成長のためには、より高い夢や目標に向かって意欲的に学ぶ能力の育成と、主体的な活動や体験活動を通して人間関係を築く中で個性と能力を発揮しあい、豊かな知性と健やかな心身をバランスよく身につけさせることが重要となる。この視点からテーマを設定し、児童が学校生活に明るさを感じる中で、学力の基礎・基本とともに基本的な学習態度・技能の定着が図れる学校、生命や人権を尊重する態度を育て、いじめ等を防止し互いに思いやる児童の育成をめざす教育ができる学校、健康で発達段階に応じた体力を有する児童の育成を図る学校づくりをめざす。

### 3 学校経営の方針（中期的視点）

- （１） 学校運営の適正化  
教職員の適材適所を図り、教育課程編成の基本方針を踏まえた本校に即した教育課程の編成とその実践に努める。
- （２） 学校経営の充実  
一人一人のよさを認め、居がいのある学校・学級づくり、活力に満ちた教育活動の展開に努める。
- （３） 学習指導の充実  
基礎・基本の確実な定着を図り、体験的な学習や課題解決的な学習を通して学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、自ら学び、自ら考える力の育成に努める。
- （４） 児童指導の充実  
全教職員の共通理解のもと、児童・保護者・教職員との信頼関係を深め、日常の触れ合いをとおして、児童指導の充実に努める。
- （５） 豊かな心の育成  
情操豊かな教育環境の充実と「命あるものを大切に作る心」「思いやりのある心」「地域を愛する心」など心豊かでたくましい子どもの育成に努める。
- （６） 体力の向上と保健安全教育の充実  
進んで運動に親しみ、健やかな体を育む体育指導の充実を図り、保健安全教育の推進に努める。
- （７） 教職員の資質の向上  
教育者としての使命感の高揚と連帯感を基に、自主的な研修をとおして資質の向上に努める。
- （８） 地域の学校づくり推進  
学校・家庭・地域社会の実態を踏まえ、家庭・地域・企業との連携を密にしながら地域の学校づくりに努める。

### 4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学校運営）

「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携し、地域の教育力を活用した教育活動を推進し、子どもが「行きたくなる学校」づくりをめざす。

（児童児童指導）

進んであいさつをし、相手の気持ちを考えて行動できる児童を育成する。

（健康・体力）

実践的な基礎知識を学び、進んで健康の保持増進と体力の向上を目指す子どもを育成する。

～楽しみや喜びを目指す体育活動の企画と実践～

（学習指導）

基礎・基本の定着を目指し、わかる楽しい授業の工夫と児童一人一人が主体的に取り組む授業を工夫・実践する。

5 自己評価（A は共通評価指標、B は学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学校評価や学校行事の反省等を生かし、児童が生き生きと活動する教育活動を行い、活気のある学校づくりに努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・全体アンケートで、児童の肯定的回答が 93.8%と前年度より 2.5 ポイント上昇し、目標を達成している。保護者 91.2%、地域住民は 84.2%が肯定的回答をしている。以上の結果から、適切な設定と実践が評価されているといえる。</p> <p>【次年度の方針】 ・行事アンケート等から適宜内容を検討し、検証したことをすぐ次に生かせるようなマネジメントサイクルを有機的に運用し、児童が生き生きと活動する教育活動をさらに推進していく。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①全職員が学校経営に参画意識を持って、協力して教育に当たるように努める。 ②児童一人一人をよく見取り、声をかけ、よく話を聞き、良いところは認め、指導すべき事はしっかり指導する。 ③オーブンスクール、授業参観や懇談会等をとおして、学校を理解してもらえるように内容を工夫する。</p>	A	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は、97.5%と高く目標を十分達成している。昨年度保護者の肯定的回答が 86.9%で、今回は 85.0%とほぼ同じであった。HP・各種便り等を通して具体的な取組みが理解された結果とみてよいのではないかと。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校が果たすべき事項や内容については、あらゆる機会を捉えて計画的に説明していく。 ・保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションをとるようにし、保護者の声を取り入れる機会を設け、誠実な対応に努めるよう全職員で取り組むようにする。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校でのきまりを徹底するために「田原小のやくそく」を提示し、教職員が共通理解の下、生活指導はもちろん、学習指導や日課等でも、きまりを守ることの大切さを繰り返し指導する。</p>	A	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 75.6%と目標を下回った。たくさんの児童がきまりやマナーを守っていると答えたものの、自分や周りを振り返って、守れないことがあると感じている児童がいた。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校の決まりや約束の内容を職員内で検討し、全職員が同一の呼びかけ、指導をしていく。 ・本校児童の実態を分析し、守るべきルールやマナーを強調して指導する。</p>
	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①各教科で標準授業時数（文科省）を確保するとともに、「基礎学習の時間」において、漢字・計算・音読などを発達段階に応じて取り入れ、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるよう努める。 ②一人一授業公開を目標に、「わかる・できる・楽しい」授業の工夫に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は約 96.1%で、目標は達成している。教職員の肯定的な意見は 100%であるが、保護者・地域住民の方の肯定的な意見がやや低かった。</p> <p>【次年度の方針】 ・放課後の教材研究の時間を確保するとともに、授業参観やオーブンスクール等の場で、きめ細かで分かりやすくアピールしていく工夫が必要である。 ・学年だよりに学習コーナーを設け、学習の様子や具体的な指導法を知らせ、家庭学習で同歩調で教えていただくようにしたい。</p>
	<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①児童が充実した生活を送ることができるよう学校行事や日課を適切に設定する。</p>	A	<p>【達成状況】 ・学校生活での生活や様々な活動が充実していると感じている児童の肯定的な回答が、92.5%と昨年度より 2 ポイント上昇し目標は達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の成果を受け、行事や日課などの反省をもとに見直しを行い、さらによりよい年間計画(行事)や日課となるように工夫して、児童がいきいきと充実した生活を送れるようにする。</p>

学 校 運 営 の 状 況	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校から情報を積極的に発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>①「オープンスクール」や授業参観等学期に2日以上実施し、学校公開を保護者だけでなく、地域に向けても積極的に行う。</p> <p>②学校だよりを毎月1回発行するとともに、ホームページを更新して、保護者や地域住民に見てもらう。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体アンケートの保護者の肯定的回答は、95.1%と2.1ポイント下がったものの高い回答率で、目標を達成している。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスクールや授業公開の方法を工夫して行い、また、いつでも学校参観ができることを呼びかけ、学校の様子や授業における児童や教職員の姿を伝えていきたい。</li> <li>・学校だより、学年だより等の「たより」を定期的に提供してきたが、さらに活動の趣旨や教育的意義を明確にし、内容の精選を図り、保護者や地域住民に学校の様子を分かりやすく伝えていくようにする。</li> </ul>
	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業と連携して教育活動を充実している」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>①「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用し、学校運営の充実（教育活動の充実と活性化）を図る。</p> <p>②授業ボランティア（地域の外部講師・街の先生）と連携した授業を計画的に行い、その成果についても広く広報できるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体アンケートの保護者の肯定的回答は、90.7%であり、昨年度とほぼ同程度で、十分達成しているといえる。（H21年度91.1%）</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ボランティアと連携した授業を計画的に行うことができた。地域協議会の認知度が上がるよう各種便りで伝えてきたが、さらに、保護者や地域住民への説明の機会を設けるなど努力していく。</li> <li>・より多くの保護者や地域住民が参加できるよう活動への参加を促すとともに、参加への満足感が得られるよう工夫していく。</li> </ul>
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>①毎月、施設・設備の安全点検を実施し、修繕・補修を迅速に行い、学習にふさわしい環境づくりに努める。</p> <p>②トイレと水道周りは、常にきれいに維持できるように、使用法の徹底を図るとともに、清掃活動において重点的に指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の肯定的回答は、86%であり指標の80%を上回った。しかし昨年度に比べ、特に教職員・保護者の肯定的回答において減少がみられた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機動班やボランティアとの連携を図るとともに、清掃の仕方の指導に重点を置き、学習にふさわしい環境を整える。</li> <li>・年間の掲示計画に沿って潤いのある環境作りに努める。</li> </ul>
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組み、指導の工夫・改善に努めている」⇒保護者の肯定的回答70%以上</p>	<p>①教師としての資質の向上、指導力の向上を目指す校内研修の充実を図る。</p> <p>②「基礎学習の時間」を効果的に活用し、家庭学習の習慣化を図るため保護者との連携を推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体アンケートの保護者の肯定的回答は、75.4%であり、経年比較(昨年度:77.2%)すると、1.8ポイント下がったが目標を達成している。</li> </ul> <p>・教職員の回答で、「とても思う」が33.4%、「まあ思う」が66.6%であり、教職員と保護者に意識の差が大きい。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質の向上を図る校内研修を充実させるとともに、研究の内容について、各種便り等で積極的に知らせるようにする。</li> </ul>
	<p>B1 学校は、事故防止・安全対策に努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は事故防止・安全対策に努めている」⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>①月1回の全校下校、毎週月・水・金の支部下校、交通安全教室、不審者対応避難訓練を実施する。</p> <p>②家庭・地域との連絡体制（田原小安全対策連絡会による防犯パトロール・子ども110番の家）を継続し実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の肯定的回答は、84.6%で肯定的回答90%以上を下回った。教職員は100%と回答していることから学校の取り組みが保護者に浸透していないことが伺える。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果があったものについては引き続き次年度も実施していく。</li> <li>・月一回、同一日に職員が各指導場所に立ち登校指導にあたる。</li> <li>・指導日を月予定や学年たより等に入れたり登校の様子を各種便りを通して情報を発信して知らせていく。</li> </ul>

教育活動の状況	生活	<p>A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は、あいさつをしている」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>①朝のあいさつ運動の実施や毎月の「なかよし・あいさつ週間」の活用法を工夫し、地域と協力して基本的生活習慣の育成を図る。</p> <p>②気持ちよい言葉づかいや返事について、共通理解のもと、日常指導の徹底を図り、保護者への働きかけを行う。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつについての児童の肯定的回答は84.7%と目標を上回ったが、職員・保護者はいずれも児童を下回った。返事・言葉づかいについては、3者平均5.0ポイント増だが、児童の肯定的回答は75.9%で目標を下回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣として、あいさつの大切さと仕方を繰り返し指導するとともに、保護者や地域との連携を図る。</li> <li>・返事・言葉づかいについては、身につせたい状態を明確にし、日常生活・学習指導の中で繰り返し指導するとともに、学年便り等で、保護者の協力が得られるようにする。</li> </ul>
		<p>B2 児童は思いやりの気持ちをもって行動している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は、思いやりを持って生活している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>①いじめの早期発見・早期対応のため実態調査を年4回実施するとともに、おしゃべり週間やQ-Uの結果を生かし、児童が安心して生活できるようにする。</p> <p>②いじめ・生命尊重についての心にひびくような内容での道徳や学級活動の授業を1回以上は行う。</p> <p>③友好委員会を中心に親切運動を推進する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的割合は、88%で前年度を上回った。特に「とても思う」と回答した児童が48.7%と半数近くに増えた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・否定的回答をした児童が1割以上いる実態を見逃すことなく、いじめや生命尊重の指導を継続していく。</li> <li>・親切を呼びかけ認めるシステムを工夫し、児童の中にさらに思いやりの心が育つようにする。</li> </ul>
	健康・体力	<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「自分は、好き嫌いなくたべている」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>①栄養職員と連携した食育に関係する授業を計画的に取り入れる。</p> <p>②給食だよりを毎月1回発行し、栄養面を含め食育や健康に対する家庭の意識の高揚を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は76.0%で、昨年度の69.9%より上昇したが、数値目標80%には、わずかながら下回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、栄養職員と連携した「食に関する授業」を計画的に実施する。</li> <li>・給食時に、担任とともに栄養職員も各学級の給食指導に参加する。</li> <li>・懇談会・給食だよりや各種たより等を通して情報を発信していく。</li> </ul>
		<p>B3 自分の体力を知り、進んで運動（遊び）している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに積極的に運動している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>①元気っ子健康体力チェックの結果などをもとに、定期的に重点運動を決めて、児童が目当てを持って運動に取り組めるようにする。</p> <p>②たわらの時間や昼休みは、外で遊ぶことを呼びかける。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定率は、86.3%であり、指標の80%を越えた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、運動に親しむ態度を向上させるため、計画的に運動に触れる機会を設けたり、たわらの時間の外遊びの奨励を全校体制・児童会（運動委員会）を通して行っていく。</li> </ul>
	学習	<p>A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は進んで挙手し、大きな声で発表するなど授業に対して積極的に取り組んでいる」⇒児童の肯定的回答70%以上</p>	<p>①「学習のきまり」や「発表のしかた」、「声のものさし」をもとに徹底指導を行う。</p> <p>②メリハリのある授業を組み立て、児童が意欲をもって学習できるように工夫する。</p> <p>③家庭学習にも力を入れ習慣化が図れるようにするとともに、保護者に対しても協力を呼びかける。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的な回答が84.4%で目標を上回った。（昨年度は79%）地域住民の方の「判断できない」という回答が21%で、肯定的な回答が低かった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に児童が発表する機会を増やすように心がける。</li> <li>・「発表のしかた」、「声のものさし」の徹底指導を行い、発表の仕方のスキルを習得させる。</li> </ul>
		<p>B4 本を読むことの楽しさや大切さがわかる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>児童一人当たりの1ヶ月の読書量 ⇒20冊以上</p>	<p>①心穏やかに読む、静かな朝の読書（朝の活動）を毎日実施する。</p> <p>②ボランティアによる「読み聞かせ会」を学年・クラスごとに行うよう年間をととして計画し実施する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ月の読書量は、平均20冊以上で目標を達成している。図鑑や絵本から、物語を読む児童が増えてきた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの方々や先生方の読み聞かせが効果的なので、継続して実施していく。</li> <li>・「いつでも読書」を合言葉に、いつでもどこでも読書ができるようにさせる。</li> </ul>

本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B5 地域の特色を生かした学習の充実を図ることにより、地域を愛する心を育てている。 <b>【数値指標】</b> ⇒各学年で、地域人材を活用し、体験活動を重視した取り組みを積極的に実施した	①保護者・地域社会との連携を図り、体験活動を重視した地域の特色を生かした学習などを実施し郷土愛の育成を図る。	<b>【達成状況】</b> ・各学年において、地域の特色を生かし、地域人材を活用した取り組みを実施した。 ・地域協議会の方が授業のサポートや環境を整えるボランティアをしてくださり、たいへん効果があった。 <b>【次年度の方針】</b> ・成果があったものについては次年度も継続して実施していきたい。(逆面獅子舞、食農体験、琴や太鼓の体験等)
---	---	--	--

〔総合的な評価〕

【学校運営部会】

- ・「かしこく、なかよく、元気のよい児童の育成」を学校経営の理念に掲げて1年間取り組んできた結果、「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」という項目に代表されるように、児童・保護者・地域住民・教職員の全体アンケート結果からも高い肯定的回答（全体の肯定的回答の平均が88.3%）を得ることが出来た。
- ・学校は、開かれた学校づくり、地域の学校という観点から、オープンスクールや授業参観、学校行事等の公開等、様々な情報発信・提供を積極的に行っているが、その結果、保護者・地域住民からの肯定的回答平均が約95%という高い評価を得ることができた。
- ・積極的な情報発信に関しては高い評価を得ているにもかかわらず、教職員の指導力向上の取り組み、指導の工夫・改善、わかりやすい授業や個別の指導に対する取り組み・努力については、教職員・保護者間でギャップが大きい。学校便り・学年便り等の各種便りやホームページ等でそれらに関するコーナーを設け、さらに積極的に発信していく必要がある。
- ・3年目をむかえた「魅力ある学校づくり地域協議会」の活動内容が充実してきて、保護者や地域住民にもこの協議会の認知度が高まってきている。期待も含めその果たす役割の重要性に協力度も増した結果と言える。さらに、活動内容や協力の要請等について、各種便り等で周知していく努力が必要と感じる。
- ・全体アンケートの肯定的回答比較表を見ると、『判断できない』との回答がまだ存在する。学校が、情報提供や説明責任の部分での積極的な取り組みの努力をさらに続ける一方、保護者や地域の方々が、どこまで学校のことを把握して評価してくださっているかの不安もある。一部分だけを見たり、誰かに言われたりしたことで判断されないような対応が必要である。さらに、**【地域住民】**の中に各自治会長さんに入っていただくなど範囲を広めて客観性をさらに高める必要もあるのではと考える。

【児童指導部会】

- ・「きまりやマナーを守っている」の質問に対する児童の肯定的割合は75.6%と目標を下回った。日課時間や学習・生活のきまりをもとに指導を行ってきたが、児童がどんな場面できまりやマナーを守れていないのか分析し、重点課題として指導していきたい。
- ・あいさつについての児童の肯定的割合と比べると、教職員・保護者・地域住民のポイントは低い。朝のあいさつ運動やなかよし・あいさつ週間を中心にあいさつの励行を呼びかけてきた。よくできる児童とできない児童の差が激しいので、保護者や地域の協力を得ながらさらにあいさつについて呼びかけていく。
- ・言葉づかいについては、どの評価者も肯定的割合が低かった。返事や友達の呼び方については、継続的に指導してきたが、定着は図れなかった。学習指導と生活指導の中で、繰り返し指導していく必要がある。
- ・やさしく思いやりがあるという質問に、半数近くがとても思うと答え、昨年度よりポイントがあがった。一方、否定的回答をした児童が一部以上いることから、友達と仲良く生活していくことの大切さをさらに指導していく必要がある。

【健康指導部会】

- ・地域ボランティアによるトイレ、水道等の清掃はきれいな状態に維持することができ保護者の肯定的回答は、目標指標を上回ったが、児童の手で清掃がしっかりできることが望ましい。そのためにも清掃の仕方等児童の指導に力を入れたい。
- ・学校は、事故防止や安全対策に積極的に取り組んでいる」では、教師と保護者の間で意識の差が大きく、学校での取り組みが保護者に伝わっていない。協力連携をしていくためにも情報発信の工夫が必要である。
- ・「給食を好き嫌いなく食べている」では、昨年度よりわずかながらポイントは上がり改善が見られ、食べられるように努力していることが伺える。多かれ少なかれ好き嫌いはあると思うが、献立により残飯の量が変わるので教師の指導が必要である。
- ・うつのみや元気っこテストの結果より、本校児童の体力は十分とはいえない状況にある。日常的な外遊びを習慣化させ、楽しく運動に親しむ態度を学校・家庭が連携して身に付けさせていく必要がある。また、や体育において、体力の大切さや体力を高めるための知識を指導し、一生にわたって、運動に親しむ態度を育成していく必要がある。

#### 【学習指導部会】

- ・今年度から「基礎学習の時間」を毎朝 10 分間実施し、基礎学力の向上を目指してきた。また、一人一研究授業を合言葉に互いの授業を参観し合い、授業力の向上も目指してきた。それで、「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」の児童の肯定的回答が 96.6%と目標を大きく上回り、「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」に対して肯定的な回答した教職員が 100%となった。
- ・「学習のきまり」や「発表のしかた」、「声のものさし」などのきまりを共通理解し指導に努めてきたが、徹底できたとは言えない。教職員が同歩調で指導に当たりたい。また、児童の積極的な発言が少ないという結果から、発表させる機会を意図的に増やしていくようにしていきたい。
- ・毎朝の読書や読み聞かせ等によって、読書好きの児童が増えてきた。「自分は進んで読書している」と肯定的な回答している児童が 90.9%と非常に多かった。
- ・地域協議会の方がコーディネーターとなり、担任と外部講師の方との取次ぎをしてくださったので助かった。地域の特色を生かし充実した内容の授業をすることができた。

## 6 学校関係者評価

### ◇学校教育全般（学校運営面）の状況について

- ・主役である子供たちが、日常の学習指導に先生方が前向きに努力し取り組んでいる姿勢を肌で感じている様子が窺えるので、自信を持って次年度も推進願いたい。
- ・A 6・A 7 で高評価だったのは地域協議会の活動・広報活動推進部の活躍によると思われる。A 9 で先生と保護者とのギャップが気になる。より、コミュニケーションを深めて、そのギャップを埋めていく努力・取り組みが必要だと思う。
- ・学校・学年行事の保護者への協力依頼だが、保護者にプリントだけでなく先生と学年委員さんたちとのコミュニケーションを図り、協力者の依頼などを委員長さんをお願いすれば、先生方が大変な思いをせずに子供たちに目が向けられると思う。先生方も、もう少し本音で委員さんたちや保護者に甘える時があって良いかと思う。
- ・全体的に同じ傾向があると思うが、保護者の意見には遠慮が感じられるので、これを考慮した検討が必要かと思う。
- ・A 6 のオープンスクールで、保護者だけでなく地域住民にも学校公開する試みがすばらしい。地域でも近所の子供を育てようという意志につながると思う。オープンスクールでより多くの人々に学校運営を見てもらうことにより近所の子供に対する関心も高まると思う。A 7 ②の取り組みもすばらしい。学校や家庭では教えられないことを地域で教える試みがすばらしい。
- ・街の先生・地域外部講師による授業で子供を育成する試みはすばらしい。企業の社長さんが学校に来て「地域企業がどういう仕事をして利益を得ているか」などを子供に説明することとてもよい授業と思う。まっとうに仕事をして企業が社会貢献したとき、その報酬として利益が生まれると言うことを子供に分かってほしい。これを教えたことがとてもすばらしい。
- ・今の 6 年生は、いろいろな体験をさせて頂きありがたく思う。ただ「6 年生は色々やれていいな」という声も聞こえるので、先生によって考え方も違うと思うが、あまり差がないようにすることも必要かと思う。
- ・先生方の研究内容を教えて頂ければ、保護者もより協力していけるようになると思う。（A 9）
- ・学校や地域の活動が「たより」等で浸透してきたと思う。一方マンネリ化も危惧されるので必要に応じ、色文字やカラー写真を取り入れ、インパクトある広報をお願いしたい。
- ・学校の行事、オープンスクールなど、開かれた学校づくりという面で工夫されていて、とても良いと思う。
- ・HP や学校便り等を見る限り、学校に足を運んでいなくても様子が分かるので、それは先生方に拍手を送りたい。田原小の先生方は子供たちのことをよく考えてくれていると思う。少しずつ、保護者が変わってきているのかと感じている。
- ・教職員が評価をよくつけている項目については、前向きに継続してほしい。保護者は、毎日学校に行っているわけではないので、よく分からない部分があるのではないか。

### ◇児童の様子全般（生活の様子、あいさつや言葉遣い等）について

- ・家庭・地域・学校最終目的が年齢に相応しい自己決定・自分の気持ちを抑える自律・助けを求められるなどの人作りと考える。即ち「自立」への進化の過程にいかにかサポートすべきかを常に考えながら行動する必要がある。
- ・朝の挨拶をする児童は、登校班 6 人のうち 2 人ぐらいである。こちらから大きな声で「おはよう」と呼びかけても、本当に元気がない。引き続き声かけをしていきたいと思う。
- ・低評価、この項目では先生・保護者・児童ともギャップが少ない。そう難しくもなく、当たり前のことなので先生の評価点が上がるように、先生方のご指導に期待する。
- ・ここ 1～2 年子供たちのあいさつが少なくなってしまったと思う。パトロール時などは、気持ちの良いあいさつの出来る子もいるが、やはり、家庭での指導を徹底する様に、保護者へ強く働きかけをする必要がある。
- ・通学途上でのあいさつが出来ない児童が見受けられるが、家庭のしつけがはっきり現れているようだ。いじめ、思いやりの指

導は、関係者が連携を密にして対応することが大切ではないかと思う。

- ・田原小の児童は、朝に顔をあわすと「おはようございます。」と、あいさつしてくれる。
- ・学校内ではあいさつも元気にしているようだが、一步外へ出るとまるで声がない。地域全体で声が出るようになると良い。親の言葉づかいから直す必要があると思う。
- ・自分の子供もあいさつが出来る方ではなく耳が痛い、以前よりは出来るようになったと思う。その子の性格などもあるので、すぐに出来るとは思えない。今まで通り周りの大人があいさつするよう心がけたい。
- ・昨年度同様、児童の評価は高いが教職員らの評価は下回る。学校側の理想像と児童の描く像にギャップが大きい為と思う。これを一致させないと更なる向上は望めないと思う。
- ・学校内でのあいさつは、全員とは言えないが、よく出来ていると思う。学校外で個々の場合に出来ないのかと思う。
- ・子供たちのあいさつは、昔と比べて、声が出なくなっていると感じる。先日、田原小へ伺ったときも、「こんにちは」の返しが元氣なく少なかったように感じた。

#### ◇児童の安全・健康・体力面について

- ・子供が安心して安全に主体力が発揮できる活動の場〔居場所〕にするには、子供本人が主体的に学校を居場所と思い、有りのまます受け入れてくれる人間関係があり、ホッとする空間作りが必要と感じる。
- ・防犯パトロールの方や保護者の方々いろいろな方達が登下校に協力していると思う。
- ・B1・B3で（先生・児童）対（保護者・地域住民）の評価が正反対になっている。子供は走り回っている、学校の安全対策は不安という思い込みか？
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」は、18年度から国民運動として推進しているにもかかわらず、朝ごはんを食べない子がいるのは残念なことで、基本的な大切なことなので保護者への指導が必要なのではないか。
- ・B1の取り組みはとても大切だと思う。児童の連れ去りや性犯罪から守るために、通学や下校時に大人が引率するところみは重要だと思う。
- ・児童数が少ないので、毎日の清掃だけでは行き届かないところもあると思う。年に何回か大掃除の日を作り、その時に保護者にも協力して頂いてはどうか。先日の運営委員会で、生活指導安全委員会の方が活動を増やしたいようなことを言っていたので、お願いしてみてもどうか。
- ・安全面について地域住民の評価が低い。登下校は親の責任が大きいことを自覚しなければならない。
- ・通常時の保護者の自家用車による送迎は、出来る限りしないほうが安全だし児童の体力づくりにもつながると思う。
- ・毎年のように、押しボタン式の信号の要望を出していても設置されない。児童の命は何よりも大切なので、今後も要望を継続したい。

#### ◇学習面に関すること

- ・成長過程に、好きな人〔先生〕・説教する人でなく心配してくれる人〔家庭・地域・学校〕に何人出会うかでその人の人生が固定するものと思うので、そんな学習学校環境をそれぞれが認識する必要を感じた。
- ・評価について正しくできたかどうか疑問に思う。学習に関しては、地域の人々は分からないのではないか。
- ・全体を見ていると級によってまとまってる行動・発表に差があり教員指導を適切に行う必要があるのでは。又、児童の読書量は多く、目標をもって読んでおり読解力も高いと感じる。
- ・B5の取り組みはすばらしい。地域の伝統芸能である逆面獅子舞などを子供に披露し継承することはよい取り組み。日本人としてのほこりと自尊心をもつことにつながると思う。
- ・声のもののさはとてもわかりやすいと思う。田原の地域性を十分に活用できる授業は理想だと思う。
- ・朝の10分間の基礎学習の効果は出ていると思う。家庭学習の習慣化は、保護者の立場として、耳が痛い。今は、仕事をしている人が多いので、毎日勉強を見てあげる時間が無いという方も多いのではないか。先生方も大変さも理解できるが、毎日宿題を出してもらえると、子供も宿題はやらなければという思いでやるので、親としてはありがたい。
- ・基礎学習の時間がある事で、家庭学習へとつながりやすくなると思う。保護者の中でも子どもとの係わり方（学習面での）がよく分からない方も居るのではないかと思う。
- ・授業中の発言の声がまだまだ小さいと感じるので、引き続きの指導が必要だと思う。

#### ◇総合的な評価に関すること

- ・学校は人格を作る場所であり、人格と知識のバランスが智恵であると思います。その基礎づくりをしっかり教えることが、小学校の役割と感じている。
- ・正確に捉えているように思う。肯定的回答比較表で、問題点を暗示するように、先生方の努力度・自己評価と保護者・地域住民の評価にギャップがある。己惚れなのかコミュニケーション不足なのか再考する必要がある。勿論、ギャップがあつて

当然だが。

- ・先生方は忙しすぎると思う。どんどん協議会を活用し教師本来の仕事を充実させてほしい。各種の提案については、ノービコースでなくイエスバット方式で前向きに対応し効果をあげてほしい。
- ・学校評価書の存在自体初めて知った。とても細かく学校の取り組みを評価分析していて素晴らしいと思う。今後の学校の発展につなげてほしい。
- ・学校のような取り組みの意図が、ほとんどの保護者には伝わっていないと思う。学校・保護者・地域が連携していくなら1つ1つきちんと伝えていくことも必要。学校が「それくらいわかるはず」と思っている、それ以上には理解できないと思う。まずは、書面ではなく生の会話を大切にしていくなければならないと考える。
- ・地域協議会の活動も活発になってきて、先生方にも喜んでもらえて、素晴らしいと思う。一つ気になるのは、地域の方の協力は増えて、保護者の協力が減っているものもあるような気がする。「出る人がいるから、出なくてもいいか」という気持ちになってしまわないか心配。自由記述にもいくつか気になる文がある。
- ・学校側と保護者側で温度差がとても感じられた。学校の事業に少しでも携わったことのある保護者からは理解が得られていると思う。若い保護者・様々な家庭状況もふまえ、大変だとは思いますが、懇談会時やお便り等で保護者へのわかりやすい説明等が必要なものではないかと思った。
- ・各自治会長が「地域住民」に入って頂く事は、適切とは思えない。学校に関心を持って頂いている方も数名（大塚・宝井団地・etc）いるが、大多数は無関心なのではないか。
- ・本校児童の体力は十分とは言えない状況。ということが残念だと思う。全体でいうと、学校・児童はともかく、「親学」、保護者の勉強も必要と思う。
- ・先生方の努力が、児童のほうで認識され始めている。先生方がいいと思っている所と児童のほうでもいいと思っている所が同じ項目が多い。さらに努力を続けてほしい。
- ・教職員との話の中でのなるほどと思うところがある。自由記述で厳しい内容があるが、学校への期待度が大きいことの裏返しで、前向きに捉えてほしい。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

### ◇ 学校教育全般(学校運営面)

- ・地域協議会委員の方々からは率直な意見をたくさん頂き、来年度も、アンケート結果といただいた意見を照らし合わせ、学校運営面、教育活動の改善に役立てていきたい。
- ・地域に開かれた学校づくりを目指し、学校公開の機会について時期的な配慮・内容の充実等について工夫するなどして、学校を理解してもらえるような取り組み等をさらに充実させ、啓発に努めるようにしたい。
- ・教職員・児童・保護者・地域住民におけるアンケート結果のギャップの大きい項目について、学校だよりやホームページをはじめ、各種便りの発行、授業参観後の懇談会等の説明内容や資料等の学校としての共通理解を図るなど、説明責任の部分での役割をさらに重視していくよう努める。
- ・教育には、数値に表れにくい部分があり、また1ヶ月後とか1年後のようにすぐには結果が出ない部分があることを十分に認識した上で、数値等による評価指標の有効性を最大限に生かし、学校の説明責任の部分を果たす努力をしていきたい。
- ・教職員にとって『居心地がよく、自分の力を発揮できる学校』を目指し、教職員一人一人が高い指導力と情熱をもって活躍できるような職場環境の構築に心がけていきたい。
- ・「田原小学校魅力ある学校づくり地域協議会」と協力しながら、人材的バンクの整備体制をさらに整えて地域の教育力を活用した教育活動を推進するとともに、地域の方々に対して学校の様々な情報を発信したり、学校と関わっていただけるような機会を設けたりして、学校に気軽に来られるような体制づくりを進めていきたい。

### ◇ 児童の様子全般(生活の様子、あいさつや言葉づかい等)

- ・保護者、教職員及び児童自身による肯定的回答が低い質問項目「児童のきちんとした言葉づかいや返事」「児童のあいさつ」と、自由記述等にも意見のあった「登下校の安全確保及び指導」など改善すべき点は、学校・家庭・地域・企業がさらに協力連携し、それぞれの立場で取り組んでいけるようにしたい。
- ・言葉遣いやあいさつなど家庭の教育に係わる部分については、魅力ある学校づくり地域協議会やPTAとの連携して「親学」を推進し、今後とも地域の特色を生かし郷土愛を育てていきたい。
- ・「規範意識の育成」、「人権を尊重する態度の育成」等について、学校が保護者や地域の方々に指導の協力を積極的に働きかけ、協働して推進していく。



◇ 児童の安全・健康・体力面

- ・体力向上については、めあてをもって体力づくりをする場の設定を推進していく。(各種検定、外遊びの奨励、教科体育の充実・運動量の確保等)
- ・「食育」に関する指導は、学校と保護者の連携が必要不可欠の部分であり、学校においては、給食指導を中心に指導し、保護者に対しては、地域協議会と PTA 共催による『親学講座』等を開催するなど、引き続き充実させていく。
- ・清掃活動については、児童数が減っていることもあり、清掃時に保護者に協力を依頼したり P T A 生活安全委員会の活動とも連携させるなどしたりして取り組む。さらに、日常の清掃時において、目的意識(協力・美化)をしっかりと確認した上で、清掃の仕方を十分に指導する必要がある。

◇ 学習面に関すること

- ・「児童は、進んで挙手し、大きな声で発表するなど授業に積極的に取り組んでいる」の児童の肯定的回答率が、本年度は 84.1%と昨年度の 78.9%からポイント数が上がっている。今年度の取り組みについて教師がさらに課題を自覚し、積極性が高まるような工夫をしていく。また、地域住民の肯定的回答率が 63.1%と低いので、授業参観・オープンスクール等の機会を活用し認識を深めたい。
- ・漢字や計算力など基礎的・基本的な内容の定着を図るために、指導方法や内容、授業時間の確保などについて本年度努力を続けてきた。さらに、定着が図れるよう検討していく。→教育課程上の位置づけ、年間指導計画の見直し・位置づけ、日課等変更
- ・家庭学習の習慣が身につくように、生活時間の見直しや課題の内容の検討など家庭の協力を得て進めていきたい。本校で、本年度 1 年生保護者向けに出した『田原小の子どもをグングン伸ばす「家庭学習のすすめ」H21.10.9 自主学習のすすめ H22.1.12』をさらに浸透させ徹底を図る。→家庭学習の習慣化
- ・読書指導については、図書館司書を中心に、さらに本年度以上の読書活動の充実を図っていくようにする。